

全L協、新たな「予防対策ガイドライン」策定 新型コロナ対策、より具体的・細かに徹底を要請

(一社) 全国L Pガス協会は新たな「新型コロナウイルス感染予防対策ガイドライン」をつくり、5月14日付けで地方L Pガス協会、L Pガス販売事業者、スタンド事業者に徹底を要請しました。

3月5日付けで要請した「新型コロナウイルス感染防止対策」を、国の「基本的対処方針」の見直しを受け、「部外者との面談場所、日時を記録しておく」や、トイレ、休憩・休息スペースでの予防対策を細かに示すなど、次のように記載事項を追加や具体化しています。

■地方L Pガス協会 面談場所・日時を記録

●「職員(同居家族を含む)に発熱等の風邪症状が見られる場合」のほか、①陽性者との濃厚接触がある、②同居家族や身近な知人に感染が疑われる人がいる、③過去14日以内に入国制限、入国後の観察期間が必要な国・地域等への渡航並びに当該在住者との濃厚接触がある場合…を追加し、「速やかに責任者等に報告し指示を受ける」よう要請。

●感染拡大防止のため、部外者との面談場所、日時を記録しておくよう追加。

●「厚生労働省や地方公共団体等の発表情報や専門家会議が発表した「人との接触を8割減らす10のポイント」や『新しい生活様式』の実践例」等を注視して対応する」「ゴミはこまめに回収し、鼻水や唾液が付いたものはビニール袋に密閉する」などを具体的に要請。

●「ゴミ回収などの清掃作業を行う従業員は、マスクや手袋を着用し、作業後に手洗いを徹底する」よう追加。

●「トイレ」「休憩・休息スペース」関係を細かに追加。たとえば休憩・休息スペースについては、「テーブル、椅子など共有する物品を定期的に消毒する」「一定数以上が同時に休憩スペースに入らないよう、スペースの追設や休憩時間をずらす」などを具体的に要請。

■販売事業者・スタンド事業者 入場者の整理・顧客にマスク着用も

●要請内容は地方L Pガス協会への要請内容とほぼ同様だが、新たに「入場者の整理」(密にならないように対応。発熱またはその他の感冒様症状を呈している者の入場制限を含む)と、「お客様に対し、マスク着用の呼びかけを実施する」ようにも要請。

●販売事業者向けに記載があった「感染の恐れを理由としてお客様が消費設備調査を拒否する場合は、消費設備「調査拒否」として取り扱い、その旨の記録を残す」、また販売事業者、スタンド事業者双方に求めている「当該事業所等にて感染者が発生した場合には、当面の業務の停止や消毒等の適切な措置を講じた後に業務を再開する」「事業所の業務を停止した場合には、速やかに所属都道府県協会に報告する」は今回も変更なく記載。

■新型コロナ関連情報はこちら→



全L協、「自立型スタンド」として27カ所を認定

(一社) 全国L Pガス協会はこのほど、停電時でも稼働できる「自立型L Pガススタンド」として、全国27スタンドを認定しました。公共インフラを支える防災拠点としての認知度を高め、L Pガススタンドの社会的価値を高める目的から独自の認定制度を創設。初年度の今回は、2019年12月に申し込みの受け付けを開始しました。

認定スタンドは、東京7、神奈川5が多く、茨城、静岡各3、兵庫、愛媛各2などとなっています。認定スタンドには、停電時を想定した年1回以上の操業訓練や平時の定期点検が義務付けられています。

2019年度販売量、家業用98.3%、自動車用89.1%

日本L Pガス協会が5月18日に公表したL Pガス資料月報「2019年度の概況」(元売販売ベース)によれば、家庭業務用は7,259千トンで前年度比98.3%、自動車用は567千トンで同89.1%と減少しました。工業用、化学原料用が増え、全体では14,132千トンとなり、前年度比では99.5%。

■新型コロナ問題で自動車用に後退目立つ

うち、新型コロナ問題が浮上した2020年1-3月を見ると、家庭業務用は2,275千トンで同95.9%、自動車用は128千トンで同86.1%、同3月分だけでは家庭業務用は749千トンで同99.9%、自動車用は41千トンで同80.8%となっており、自動車用の後退が目立ちます。

2019年度 部門別販売明細(%:前年度比)						
部 門	プロパン		ブタン		計	
	(t)	(%)	(t)	(%)	(t)	(%)
家庭業務用	7,258,521	98.3	569	1,115.7	7,259,090	98.3
工業用	1,262,701	98.0	1,486,218	106.3	2,748,919	102.3
自動車用	49,632	91.6	516,891	88.8	566,523	89.1
都市ガス用	1,184,823	101.3	159,233	83.6	1,344,056	98.8
化学原料用	945,469	83.6	1,187,266	137.7	2,132,735	107.0
電力用	60,381	50.1	20,466	82.3	80,847	55.6
合計	10,761,527	96.6	3,370,643	110.2	14,132,170	99.5

主要機器はマイナス成長、エコジョーズ微増

(一社) 日本ガス石油機器工業会(JGKA)が5月14日に公表した2019年度「ガス機器出荷実績」(L Pガス・都市ガス)によれば、こんろ、瞬間湯沸器、温水給湯暖房機、ふろがまは、いずれも前年度を下回りました。特に瞬間湯沸器は、元止式95.3%、先止式97.2%、合計96.8%と減少。また、温水給湯暖房機とふろがまは、多い都市ガスと少ないL Pガスとの格差が際立っています。

先止式週間湯沸器と温水給湯暖房機、ふろがまのうち、エコジョーズは1,041千台となり、前年度比100.8%となりました。

2019年度 ガス機器出荷実績(主なもの、JGKAまとめ)						単位:千台、%	
千台、%	こんろ	瞬間湯沸器			温水給湯暖房	ふろがま*	暖房
		元止式	先止式	合計			
LPガス	1,421	162	487	649	39	495	89
都市ガス	1,594	142	511	653	353	894	240
合計	3,015	304	998	1,302	392	1,390	329
前年度比	98.2	95.3	97.2	96.8	99.7	99.8	91.2

エコジョーズ:LPガス324 都市ガス717 合計1,041(前年度比100.8)

*合計数の不一致は四捨五入による

6月プロパン、CP350.00ドル、MB212.18ドルへ

6月積み込みC P(サウジアラビア輸入F O B価格)は、プロパン(P)はトンあたり350.00ドル、ブタン(B)は330.00ドルにすると輸入元売各社に通知がありました。前月に比べPは+2.94%、+10.00ドルの上昇、Bは▲2.94%、▲10.00ドルの下降。一方、米・モントベルビュー(MB)の6月適用プロパン価格(OPIS社発表)は212.18ドルで、前月に比べ+26.35%、+44.25ドル上昇しました。

配信ご希望の特約店様はメールアドレスを下記URLよりご登録ください。

※すでにご登録いただいている特約店様は不要です。

※ご不明な点は、オブリ担当セールスにご連絡ください。

【登録フォーム】<https://obbli.info/obbli/>

※パソコン、スマートフォンからご登録ください。



Obbli